

大会名 Competition	第22回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-105	Year Month Day Time 2009 年 5 月 3 日 16 : 55
場所 Place	能代市総合体育館



チームA		チームB
延岡学園	(21 1st 16 16 2nd 17 29 3rd 23 28 4th 10 OT)	能代工業
94 ○		66 ●

主審:Referee
片寄 達 宮城県
副審:Umpire
小野寺 浩 秋田県
テーブルオフィシャル:Table officials
能代商業

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	横瀬 孝樹	CAP	18	1	5	5	3	4	×	宮城 大喜	CAP	11	2	1	3	0
5	×	エリマン プイ		19	0	9	1	3	5	×	武藤 修平		16	0	6	4	4
6	×	長谷場 祐二		11	0	4	3	3	6	/	小川 昌志		5	0	2	1	1
7	×	永吉 佑也		21	1	9	0	2	7	×	湊 大樹		23	4	5	1	3
8	×	川元 崇史		16	4	2	0	1	8	×	伊藤 雄太		0	0	0	0	5
9	/	宇治橋 真悟		0	0	0	0	1	9	×	伊藤 伸高		9	2	1	1	2
10	/	中小路 拓		0	0	0	0	0	10		藤田 洸		-	-	-	-	0
11		寺原 庸太		-	-	-	-	0	11		田中 浩喜		-	-	-	-	0
12		石田 慎太郎		-	-	-	-	0	12		溝坂 太成		-	-	-	-	0
13		善家 耕太郎		-	-	-	-	0	13	/	志水 一希		2	0	1	0	0
14		中村 友哉		-	-	-	-	0	14		中山 祐樹		-	-	-	-	0
15	/	黒木 亮		2	0	0	2	1	15	/	西嶋 宏哉		0	0	0	0	0
16	/	岩田 大輝		0	0	0	0	1	16	/	三上 翔平		0	0	0	0	2
17		寺原 拓史		-	-	-	-	0	17	/	畑澤 哲平		0	0	0	0	1
18	/	岡本 飛竜		7	1	1	2	0	18		亀山 悟史		-	-	-	-	0
コーチ		北郷 純一郎							コーチ		佐藤 信長						
アコチ		内村 昌弘							アコチ		安保 敏明						
合計				94	7	30	13	15	合計				66	8	16	10	18

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q、延岡3-2ゾーン、能代工はマンツーマンディフェンスでスタート。能代工は#7湊の3P、#5武藤のゴール下でリードを奪うが、延岡も#6長谷場#4横瀬のドライブ、#7永吉#5プイのインサイドのパワープレイで逆転する。その後は延岡がインサイドを効果的に攻めながら#8川元の3Pで試合を有利に進めるが、能代工も#7湊の3P、速攻から#6小川のレイアップで食い下がり、21-16と延岡リードで第1Q終了。

第2Q、立ち上がり、延岡は#4横瀬、#6長谷場の積極的なドライブから得点を重ねる。能代工も#4宮城の3P、#5武藤のドライブやジャンプシュートで応戦する。能代工はドライブに対してタイトなディフェンスを仕掛け、延岡のミス誘うが、オフェンスの攻め手を欠き、なかなか追いつけない。延岡は再びインサイドに起点にした攻めを見せ、#5プイ、#7永吉が着実に得点しリードを広げる。しかし、能代工もリバウンドからの速攻で#7湊が連続得点し、37-33の延岡4点差のリードで前半を終えた。

第3Q、序盤、能代工は#7湊のジャンプシュート、#9伊藤の3Pで一気に逆転する。しかし、この後延岡は#7永吉、#5プイのインサイドを起点に#8川元の3Pをからめて加点する。能代工もオールコートでタイトなディフェンスを見せ、#5武藤のドライブ、#7湊、#4宮城の3Pなどで応戦し、両校の特徴を生かした一進一退の攻防が展開される。しかし、終盤、延岡は#5プイのインサイド、#8川元の3P、#4横瀬のバスケットカウントで突き放し、能代工のミスも重なって66-56の10点差で第3Q終了。

第4Q、延岡は#4横瀬、#6長谷場が果敢なドライブで攻め、能代工のファウルを誘う。残り6分23秒で能代工はチームファウルが5つとなり、延岡はこのチャンスに#4横瀬、#6長谷場が着実にフリースローを決め、リードをじわじわと広げる。能代工は延岡のディフェンスを切り崩せず、パスミスが目立ち始め、逆に延岡は#6長谷場、#4横瀬のドライブに加えて#7永吉のインサイド、さらに#5プイが豪快なダンクを決め、一気にリードを19点に広げる。能代工も諦めずに速攻から#9伊藤のバスケットカウントなどで食い下がるが、最後まで積極的に攻め続けた延岡が94-66で勝利した。